※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究（実教出版）						
副教材等	最新日本史図表 2026（第一学習社）、新日本史研究ノート応用編（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教室での学習と自宅や地域などでの学習とを結合することにより、生徒の興味や探究心を一層喚起し、日本史における基本的な知識の摂取だけではなく、歴史的興味の深まりと他領域への関心の広がりを付与させることのできる学習活動をおこなってください。また、基本的な知識を定着させるために、単元毎に復習の時間を設けて、反復の中で学習内容を定着させてください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の地理的条件や世界史的な視野から、日本史の各時代の基本事項を理解できている。史料やグラフを読み解くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
日本の歴史展開について、地理条件や国際環境から多面的・多角的に考察を深めることができる。現代の諸問題に関する適切な判断力や端的に示す表現力を有している。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史に関する諸課題について多面的・多角的な考察を深めようとする態度を身に着けている。その上で複雑な現代社会の諸課題に主体的に対応しようとする日本国民としての資質・責務を涵養する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古代史から近現代史を中心とする日本についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	古代から近現代世界各国で起こっている諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代史から近現代史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　日本文化のあけぼの	1. 日本列島最古の文化 2. 縄文時代の社会と文化 3. 弥生時代の社会と文化	a： 旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などを基に，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解している。 b：自然環境と人間の生活との関わり，中国大陸や朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現している。黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c：時代を通観する問いを表現する学習については，知識・技能や思考・判断・表現力の学習や，原始社会の特色についての考察などを踏まえ，例えば，身近な地域や周辺の地域の縄文や弥生などの時代の遺構や遺物から分かることなどを確認し，生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を交えて，相互に表現する。それらの疑問を基に，教師が問いかけをおこなうなどして，原始社会の特色について課題意識をもって考察しようとしている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
5月	第2章　ヤマト政権の成立と古墳文化	1．小国の分立と邪馬台国 2．古墳の出現と大和政権の成立 3．ヤマト政権の展開と統治の進展 4．古墳時代の生活と文化	a：国家の形成と古墳文化，律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。 b：中国大陸・朝鮮半島との関係，隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，小国の形成と連合，古代の国家の形成の過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 c：原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりの理解や時代を通観する問い，古代を展望する仮説を踏まえ，資料を扱う技能を活用し，古代の国家や社会の展開について，事象の意味や意義，関係性，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現する学習を通じて，古代がどのような時代であったかを理解しようとしている。様々な資料の特性に着目して複数の資料の活用を図るとともに，資料に対する批判的な見方を身につけたり，資料に基づいて因果関係を導き出したり，解釈の多様性について考察しようとしている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第3章　律令国家の形成	1．古代国家の形成 2．飛鳥文化・白鳳文化 3．律令制度 4．奈良時代の政治				
6月	第4章　古代国家・社会の変容	1．律令体制再編期の政治と社会 2．摂関政治の成立と支配体制の転換 3．国風文化				

※令和４年度以降入学生用

7月	第2部　第1章　荘園公領制の成立と院政 第2章　中世の国家・社会の展開	1．鎌倉幕府の成立と朝廷 2．中世に生きる人々 3．蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	a：貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解している。 b：権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c：中世の特色についての考察などを踏まえ，例えば，武士の政治への関与が社会にもたらした変化や，併存する政治勢力がそれぞれの勢力を維持していた状況などについてこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現しようとしている。また，それらの疑問に基づいて教師が問いかけをおこなったことに対して，課題意識をもって考察しようとしている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
2学期8月・9月	第3章　中世の国家・社会の変容	1．南北朝の動乱 2．室町幕府の政治と外交 3．室町社会の展開と応仁の乱 4．室町文化 5．戦国大名の分国経営				
10月	第3部　第1章　東アジア世界の変容と天下統一	1.　織豊政権 2.　天下統一の完成 3.　近世成立期の文化	a：織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解している。 b：村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c：近世の特色についての考察などを踏まえ，例えば，織豊政権が戦国時代を終わらせることができた理由や，海外から伝わった新たな文化が社会の変化に与えた影響などについて，これまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現しようとしている。また，それらの疑問に基づいて教師が問いかけをおこなったことに対して，課題意識をもって考察しようとしている。例えば，「なぜ長期間にわたって大きな戦乱が起こらない時代を形成できたのか」など，近世の特色を探究するための筋道や学習の方向性を導く問いを表現しようとしている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト ・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート ・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート ・討論や発表 ・ワークシート
	第3章　近世の国家・社会の変容 第2章　幕藩体制の成立と展開	1. 幕藩体制の成立 2. 貿易の統制と対外関係 3. 近世社会のしくみ 4. 幕府政治の展開 5. 経済の発展 6. 元禄文化と学芸の発展 1. 幕藩体制の動揺と幕政の改革 2. 欧米列強の接近と天保の改革 3. 近世文化の成熟と変容				

※令和４年度以降入学生用

11月	第4部　第1章　開国から倒幕へ 第2章　明治維新	1．明治維新 2．文明開化	a：対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に，近世から近代への時代の転換を理解している。 b：欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，政治・経済の変化と思想への影響などに着目して，近世から近代の国家 ・ 社会の変容を多面的 ・ 多角的に考察し，表現している。時代の転換に着目して，近代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c：時代の転換に着目して，近代の特色について多面的・多角的に考察する学習については，小項目（ア）の近世から近代への転換の理解や，「中学校社会科歴史的分野における学習の成果を活用する」（内容の取扱い）とともに，「歴史総合」の学習で獲得した概念などを活用し，近世との比較や他地域や他国との比較などを通して，例えば，当時の我が国が直面していた国内外における諸課題やその対応，政治や経済など諸側面の変化などから，近代の特色について多面的・多角的に考察しようとしている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
12月	第3章　近代国家の形成	1．立憲国家への道 2．議会政治の展開と日清・日露戦争 3．産業革命と社会の変化 4．近代文化の形成と展開				
3学期　12月・1月	第4章　両大戦間の日本	1. 第一次世界大戦 2. 政党政治の展開 3. 市民文化				
2月	第5章　十五年戦争と日本 第7章　グローバル化のなかの現代日本 第6章　戦後日本の形成	1．満州事変 2．日中戦争 3．アジア・太平洋戦争 1． 占領と民主改革 2． 独立と日米安保体制の形成 3． 高度経済成長下の日本 1．「国際化」する経済大国 2．新たな世紀の日本へ	a：占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，平和条約と独立の回復，戦後の経済復興，アジア諸国との関係，高度経済成長，社会・経済・情報の国際化などをもとに，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 b：第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違，冷戦の影響，グローバル化の進展の影響，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 c：日本と世界の相互の関わり，地域社会の変化，いままでの学習でみいだした画期などに着目して，事象の意味や意義，関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察しようとしている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度